

富山産業展示館(テクノホール)新展示場の基本設計の概要について

一般財団法人富山産業展示館では、平成 26 年 3 月の「大規模展示施設あり方懇談会」の検討報告を受け、昨年度から富山産業展示館(テクノホール)新展示場の増築の準備を進めておりますが、このたび、基本設計をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

1 整備の基本的な方針

- ・ビジネスユースに重点を置き、展示会と会議等の複合催事の開催に対応可能な**多機能型の展示場**を整備する。
- ・現展示場と合わせ展示面積を 2 倍以上に拡充するとともに、**現展示場と新展示場の一体的な活用**を図る。

〔整備手法等〕

整備主体 一般財団法人富山産業展示館
事業費負担 富山県：富山市・経済界 = 2：1
概算事業費 約 4.1 億円程度

2 基本設計の概要

- ・場所：富山市友杉地内〔敷地面積：約 41,000 m² (県 16,300 m² 財団等:24,700 m²)〕
- ・建物構造：鉄骨造平屋 **延床面積：約 6,000 m²**
- ・主な施設の概要

① 展示ホール：約 3,640 m² (*南北 92.7m×東西 39.2m・・実施設計で精査)

* 現展示場 (3,363 m²) と合わせた**展示ホールの合計面積は約 7,000 m²**

【多機能型としての整備】

- ・移動式間仕切りを導入 (2 か所)

…… 催事規模に応じた分割利用が可能。

* 1/4面 約 900 m²、1/2面 約 1,800 m²、3/4面 約 2,700 m²

- ・天井に膜を設置 (天井高 約 9 m) ***産業展示館では全国初**

…… 吸音に効果があり、落ち着いた空間が形成され、会議・集会とレセプションの複合催事の開催に適している。

② ホワイエ：約 1,090 m² (現施設との接続部分含む)

- ・展示・商談用のブース等を設置可能 (電源、LAN 端子を配置)
- ・公園側のスペースを休憩コーナーとして利用

③ 商談室 (5 室)、その他の諸室：約 1,270 m²

- ・商談室のうち 3 室 (各 36 m²) は、108 m²又は 72 m²の部屋としての利用も可能

④ 駐車場：約 700 台 (現施設：450 台)

3 今後の予定

- ・敷地造成工事 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月
- ・実施設計 平成 27 年 8 月～11 月頃
- ・本体工事着手 平成 28 年春頃
- ・完成・供用開始 平成 29 年度後半

【参考】

富山産業展示館 新展示場の施設概要

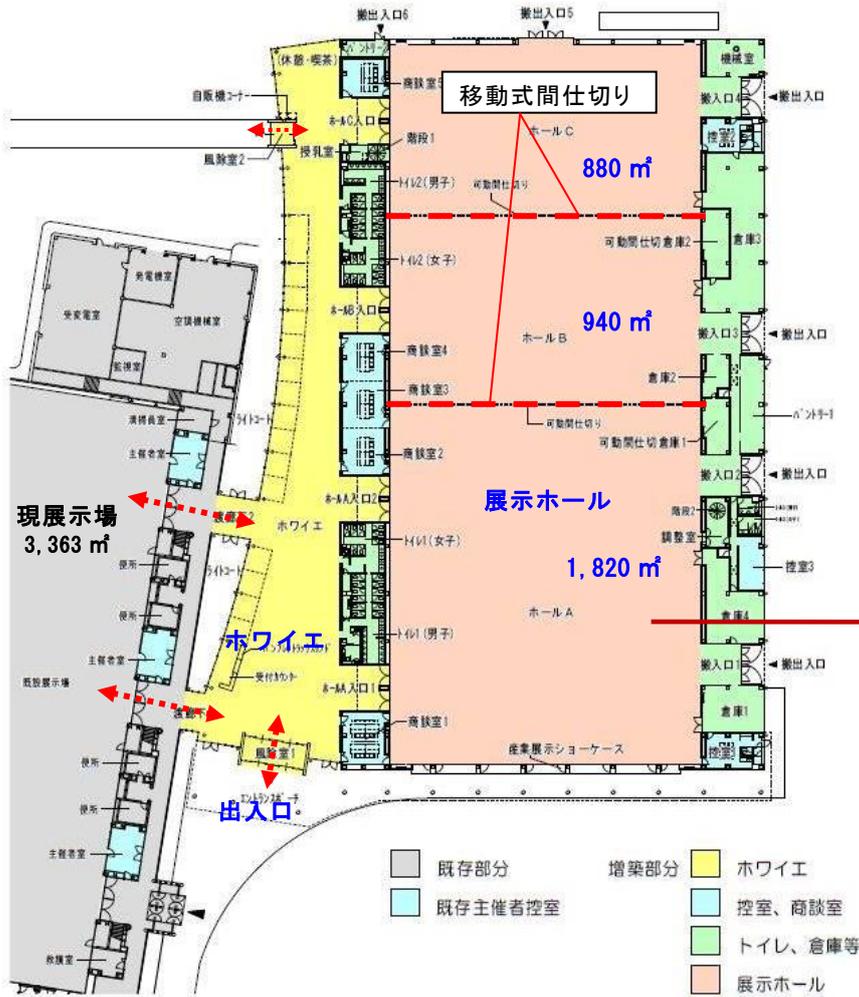


現展示場

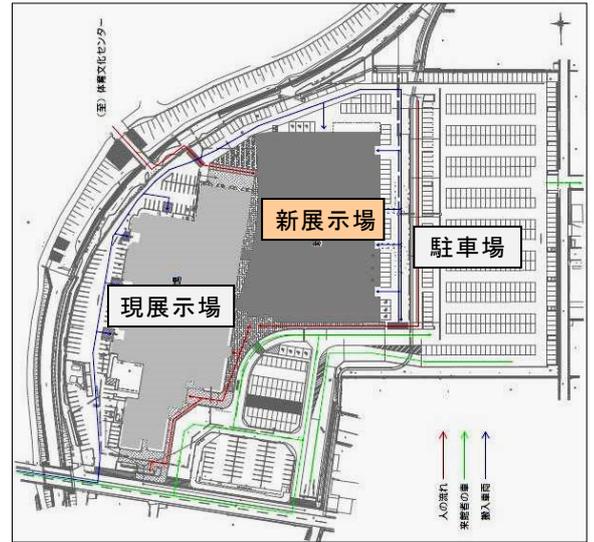
新展示場

駐車場

〔新展示場の平面計画（概略図）〕



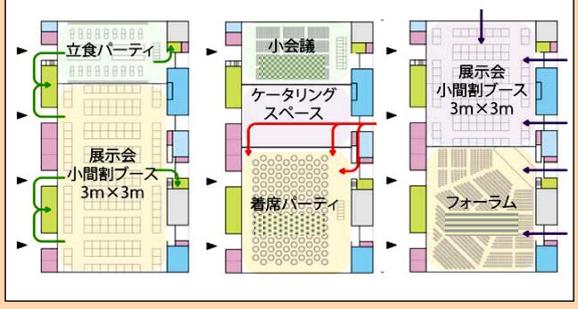
〔全体の施設配置〕



＜展示ホールの利用可能な面積＞

全 面 3,640 m² 3/4 面 2,760 m²
 1/2 面 1,820 m² 1/4 面 880 m²、940 m²

〔新展示場の分割利用のイメージ例〕



〔新展示場の主な特徴等〕

- **新展示場と現施設が一体的に利用しやすいよう配置し、駐車台数も確保**
 - ・ 現テクノホールの敷地（約 24,700 m²）に加えて県消防学校跡地（約 16,300 m²）を使用し、地元の理解を得て農業用水路の位置を変更することで敷地を効率的に活用
- **2つの展示場の間の人の流れをスムーズにし、多目的に利用できるホワイエを配置**
 - ・ ホワイエに展示・販売ブース、商談ブースの設置が可能（電源等を配置）
 - ・ ホワイエや商談室は、現展示場がメイン利用される場合にも別会場として使用可能
- **「移動式間仕切り」の導入により、展示ホールの分割利用が可能**
 - ・ 催事規模に応じた広さの設定が可能（全面、3/4面、1/2面、1/4面）
 - ・ 2分割又は3分割利用により、展示と会議・講演等の複合催事等の開催が可能
- **天井に「膜」を設置し、レセプションや会議などの催事にふさわしい空間を形成**
- **床（コンクリート）に多様な展示形態に対応できるピット（電源等の配線用の溝）を配置**

【参考】 富山産業展示館 新展示場の外観・内観イメージ



膜天井のある展示ホール



展示・商談会



レセプションパーティー



ホワイエ